

2023年11月21日

持続可能な地域社会プログラム連続セミナー#17

PPP公的不動産マネジメントによるまちづくり研究会（仮称）  
「略称 PPPまち研究会」

横浜市立大学大学院都市社会文化研究科は、2021年度より社会人向け「持続可能な地域社会プログラム」を提供しております。そこで、本学らしい「持続可能な社会」を目指し、標記の研究会を開催し、より魅力的な研究科を目指していきたくと考えております。地域の実情を踏まえ、事例をしっかりとまなびながらも、実践的で学際的なアプローチを考えております。今年度は、昨年度の「PPP/PFI研究会」を発展的に取り上げ、「PPP公的不動産マネジメントによるまちづくり研究会」を立ち上げました。昨年度に引き続き本研究科の専任教員だけでなく、客員教授、他大学の先生、横浜市役所、中央省庁、政府系金融機関、研究所、民間企業の方等から構成された研究会を立ち上げ、組織的に活動しております。

2023年度 第5回目

日時：2023年11月10日（金）14：00～16：30

実施方法：第1部：現地視察、第2部：講義

場所：オガールプラザ

参加者数：7名

報告題目：PPPプロジェクトにおける民間投資の誘導～オガール・ひづめゆ・学校跡地

報告者：紫波町 企画総務部長 鎌田千一様

<概要>

今回は公民連携手法を用いてまちづくりを実施している岩手県紫波町の「オガールプラザ」の現地視察を実施した。当日は、本研究会からは社会人大学院生を含め5名と、筑波大学関係者2名の合計7名に対して、紫波町の鎌田部長や関係者から現地視察を兼ねながら詳細な説明と質疑応答に応じて頂いた。

そもそもオガールプラザとは、オガール紫波株式会社（2023、p.1）によると「オガール紫波(株)並びにオガールプラザ(株)は、岩手県紫波町において都市再開発事業に取り組んでおります。人口3万4千人余の田舎の小さな自治体にあつて、行政との適切な役割分担と情報交換を行いながら、公民連携手法（PPP）による公共施設整備や経済開発を通じた町づくりの一翼を担っている会社であり、その成果が着実に表れてきています。紫波町同様にいずれの地方都市でも抱えている少子高齢と人口減少社会状況化下でのインフラ整備の在り方

や福祉施策への取り組み、自治体の緊縮財政の中でも止むことなく求められる活力溢れる町づくりへの取り組みなど、課題は山積しております。紫波町と弊社はこうした近未来の困難な地域社会を見据えつつ事業展開に挑戦を続けています。」と説明されている。

このように公民連携によるまちづくりを実践しているオガール視察を踏まえ、今後のまちづくりを研究する糧となった。今回の視察を実施することができたのは、紫波町の鎌田部長ならびに関係者の皆様方、そして、本研究会の皆様方のご協力に改めて深謝申し上げます。

#### 【参考文献】

オガール紫波株式会社（2023）『オガールプロジェクトご視察研修の皆様方へ』

参考までに、当日の様子を撮影した写真を貼付する。





以下余白。